



公明党
岩城 桂子

高齢者の孤独死をなくす対策を！ 命をつなぐネットワーク事業の推進は

問 昨年の国勢調査で一人暮らし世帯は総世帯の3割を超え、高齢者の15.6%が単身生活者である。地域で一人暮らしの高齢者を支え合う対策はどうか。

答 福祉課長 災害時要援護者支援プランで民生委員が実施調査している。現在254名が登録している。

問 民生委員の現状と取り組みはどうか。

答 福祉課長 現在57名体制で各担当地域の要援護者の見守り等実施している。

問 地域貢献と自身の介護予防につながり保険料を軽減できる、介護サポーターポイント制度の導入は。

答 健康増進課長 他市町の取り組み情報を研究課題としていく。

◆生命を守る健康対策を

問 がん対策推進基本計画に今年度までに検診受診率50%としているが、各種がん検診受診率の進捗状況は。

答 健康増進課長 昨年大腸がん・肺がん・乳がん・胃がん・前立腺がんが一昨年より減少。子宮頸がんは増

◆特別支援教育の推進は

問 発達障がいについて教員や保護者への啓発講演は。

答 学校教育課長 3年前よりNPOえじそんくらぶの講演会を開催。今後も継続していきたい。

問 乳がんと前立腺がんの個別検診の実施はどうか。

答 健康増進課長 今後も検討協議をしていく。

問 こども医療費の窓口払いの撤廃はどうか。

答 こども家庭課長 2市1町の事務担当と検討し、来年10月から実施していきたい。

◆ゲリラ豪雨対策について

問 町の取り組みは。

答 地域振興課長 災害対策グループを設置し、5課3班体制で出動している。



ゲリラ豪雨で冠水したみよし台の町道



細田 家永

中央公民館閉館！ 再建はどうか！ 三芳町の文化・行政の拠点をなくすな！

問 中央公民館が閉館となる理由は。

答 社会教育課長 築46年が経過し、経年劣化が進み、新耐震基準以前の建築物でもあり閉館を決めた。

問 建て替えの計画は、どうなったのか。

答 社会教育課長 まちづくり懇話会等で断念を投げかけたが、建て替えの強い要望があり、可能性を模索したい。

問 断念した理由は。

答 社会教育課長 行政需要優先順位の中で先送りの断念に至った。

問 閉館後の施設利用者の振り替えは、どうなる。

答 社会教育課長 代替施設として、役場3階、



中央公民館

◆不登校対策について

問 小中一貫教育の中で、不登校など減少が図れるとあるが、効果はあるのか。

答 学校教育課長 不登校は中学生になると、増えるため、小中の垣根をなくすことで効果がある。

問 中学生の不登校の主な原因は。

答 学校教育課長 自尊心の低下による無気力・青年期前期による不安や葛藤、進路による不安感が原因。

問 不登校対策は。

答 学校教育課長 学校では生徒の居場所作り、わかる授業の展開、相談室の充実、定期的面談、さわやか相談員、担任による不登校生徒宅への迎え等で、取り組んでいる。

問 コピス、体育館、農業センター、集会所等、打診している。

問 給食センター建て替えにあわせて、併設する件は。

答 町長 財政負担が軽減できるならば、町の方針として併設したい。まずは財政など検討し、具体的に進めていきたい。



三芳町の今後の放射線測定に関して 町民の安心安全を確保するために

問 現在のは校庭や保育園の園庭の放射線量を計測しているが、草むらや雨水の流れる場所の測定も必要ではないか。

答 環境産業課長 今までの計測地域の線量が安定しているため、今後は測定地域や測定場所の拡大を図りたい。

問 更に町民からの要望で線量の測定はできないか。

答 環境産業課長 町民の要望で町の職員が計測する方向で検討を行いたい。



問 厚労省は、原子力施設の事故緊急時の食品放射線汚染モニタリングのマニュアルを出している。三芳の農産物が安心安全であり、住民の安心安全の確認

問 環境産業課長 食品の放射線測定器は高額でもあり、今後検討したい。

◆図書貸出しに関して

問 付録のついた図書の管理をどの様に行っているか。

答 図書館長 バーコード管理を行っているが、付録を小さな袋に入れていたため時々落ちることもある。今後は管理を徹底していきたい。

問 最近の未返却や紛失図書の数と金額は。

答 図書館長 平成22年度は未返却図書は297冊、29万3千円、紛失図書は140冊、10万3千円。

問 大きな金額だ。未返却の対応をしっかりとしたいがどうか。

答 図書館長 未返却は葉書による督促を2回行い、その時点で90%は返却される。その後は本の種類により、電話による督促、訪問による回収を行っている。

＜その他の質問＞ 学校施設を防災拠点として整備することについて



町は危機管理体制の更なる充実を図れ！ 平時からの備え「被災者支援システム」導入

問 災害時の迅速な行政サービス提供に、地方自治情報センターが無償提供している「被災者支援システム」導入が必要では。

答 地域振興課長 防災対策見直しの中で事務効率化に向け前向きに検討する。

問 災害時であっても町は継続しなければならぬ業務がある。事業継続計画（BCP）の策定は。

答 政策秘書室長 関係各課と調整し、策定に向け準備していく。

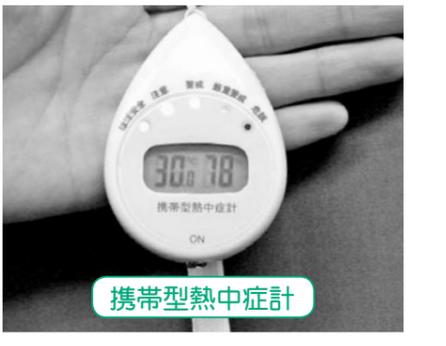
問 災害発生時の小中学校児童生徒に関する情報を保護者にメール配信しては。

答 学校教育課長 NPO法人実施のシステムを利用したメール配信を、現在準備している。

◆熱中症から町民を守る

問 夏季の熱中症対策は重要課題。高齢者の見守り訪問をする民生委員や、日中子どもを守る学校・教員に気温と湿度で危険度を表示する携帯型熱中症計を配布してはどうか。

答 福祉課長 民生委員役員会で協議し、希望があれば来年度予算要求をする。



携帯型熱中症計

問 教育総務課長 学校・教員への配布については、機器の性能を調査し前向きに検討したい。

問 町全体の節電効果や熱中症予防のため、公共施設の一部に涼み処（クーリシエルター）を設置しては。

答 健康増進課長 本年県がモデルケースにて実施しているため、本町も県担当課に伺い研究する。

問 学校の校庭や昇降口に水を霧吹き状に散布するミストシャワーの設置は。

答 教育総務課長 性能や効果を調べて、来年度に向け検討する。

＜その他の質問＞ 高齢者特定検診及び介護予防教室に聴覚検査の導入について



久保健二

児童・生徒の不登校問題解消を！
不登校解消策の具体的取り組みは！



問 町内の小・中学校の不登校児童、生徒の5年間の推移はどのようになっているのか。

答 学校教育課長 小学校では、平成18年から22年度迄のべ30名強、中学校では同様に5年間でのべ150名強である。

問 不登校の要因は。

答 学校教育課長 小学生と中学生では要因もかなりの違いがあるが、自尊心、家庭問題、進路等様々なことがある。

問 不登校解消にどのような取り組みをしたか。

答 学校教育課長 教師の家庭訪問を行った。

問 街路樹の剪定は。

答 道路交通課長 主に業者委託を行っている。
〔その他の質問〕北永井2区集会所公衆トイレの6月議会後の進捗状況について

問 今後どのような取り組みを考えているのか。

答 学校教育課長 児童・生徒の状況把握を十分に行い、学校・教育委員会が一体となり不登校解消をしていきたいと考える。

◆高齢者（認知症）対策について

問 町内での独居老人はどの程度いるのか。

答 健康増進課長 現在把握しているのは254名程であると思う。

問 独居老人へのケアと訪問は。

答 健康増進課長 民生委員の訪問による見守り、町による配食サービス等を実施している。

問 認知症についての相談窓口は。

答 健康増進課長 包括支援センター保健師等、専門職が望ましい。

◆街路樹の維持管理について



いぶき 石田豊旗

財政の健全化について

問 資源ごみの有効活用と回収について。

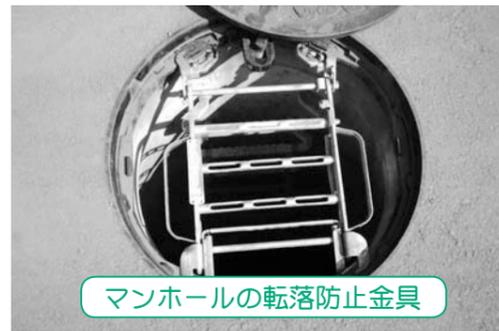
答 環境産業課長 住民の分別に対する協力と理解により徹底され、特に容器類の売却代金が大幅に増加した。リサイクルごみで、家電製品等に含まれた希少金属の回収について、来年度で法の整備が検討されている内容等の情報収集し、町として分別方法を検討したい。

問 財政の負担軽減策としての、ごみ処理費用の有料化についてはどうか。

答 環境産業課長 有料化実施の効果として、ごみ減量化・リサイクル推進・環境、コスト意識向上・施設運営費の軽減等が期待できるが、現在ふじみ野市と共同で新規建設計画推進中のごみ処理施設の基本計画の中でごみ収集と分別方法の業務統一を図る中で検討していく。

問 健全な財政運営とあるが、すでに自主財源としては硬直状態にあると思うが。

答 財務課長 行財政改革で給与構造改革、職員配置、民間へのアウトソース等行って来たが十分であり、更なる補助金



マンホールの転落防止金具

問 資源ごみの有効活用と回収について。

答 環境産業課長 住民の分別に対する協力と理解により徹底され、特に容器類の売却代金が大幅に増加した。リサイクルごみで、家電製品等に含まれた希少金属の回収について、来年度で法の整備が検討されている内容等の情報収集し、町として分別方法を検討したい。



秋坂 豊

道路と交通行政
都市基盤整備について

問 幹線17号線のショッピングモール付近に、横断歩道の設置要望をしているが、進捗状況は。

答 道路交通課長 町から警察に設置要望しているが「現在この付近には隣接する横断歩道があり困難」と言われているが、引き続き要望していく。

問 関越自動車道の側道を拡幅整備する計画はないのか。

答 道路交通課長 予定はないが、必要が生じた場合には、検討していきたい。

問 道路の苦情対策は。

答 道路交通課長 確認し記録を作成し、すぐに対応している。

問 排水性舗装の道路は、あるのか。

答 道路交通課長 一部、雨水対策を考慮し取り入れている。

問 区画整理地内と計画道路地内からの泥の流出を防止できないか。

答 都市計画課長 地権者の了解を得て、泥の流出を防ぐよう指導していきたい。

問 北永井493番地先の幹線5号線と幹線21号線の交差点は、どうして変



横断歩道設置が望まれる交差点



公明党 小松伸介

町民・環境に優しいまちづくりを
環境に配慮した三芳町構築に向けて

問 太陽光発電システムに対する補助金制度はどうか。

答 環境産業課長 近隣の交付状況を踏まえ、財務課とも調整し、来年度予算化に向けて制度整備を行う。

問 小・中学校の普通教室へのエアコン設置はどうか。

答 教育総務課長 喫緊の課題と捉えているが、具体的な計画はない。現在は平成25年度を目標に、学校施設の耐震補強工事を第一優先で進めており、エアコンに関しては今後、整備計画等を策定していく。

◆公園について

問 遊具のメンテナンス状況はどうか。

答 都市計画課長 年1回の業者保守点検及び職員による目視等で確認している。

問 富士見市・ふじみ野市ではバスケットゴールがあるが当町においてはどうか。

答 都市計画課長 年1回の業者保守点検及び職員による目視等で確認している。

問 遊具のメンテナンス状況はどうか。

答 都市計画課長 年1回の業者保守点検及び職員による目視等で確認している。

問 遊具のメンテナンス状況はどうか。

答 都市計画課長 年1回の業者保守点検及び職員による目視等で確認している。



問 幹線15号線については。

答 道路交通課長 危険性は認識している。地権者と協議し歩道整備を進めていく。

問 藤久保ポケットパーク前の道路が危険。信号機の設置はできないか。

答 道路交通課長 東入間警察に要望していく。

問 注意喚起の看板設置は。

答 道路交通課長 現状に加え、更なる注意看板設置について検討していく。



いぶき 井田和宏

更に信頼される農産物の産地をめざして！ 放射性物質の影響と対応について

問 農産物に対する放射性汚染の問題は、消費者の立場から生産者の立場から大変関心の高いものになっている。三芳産農産物への影響は具体的にどの程度か。
答 環境産業課長 埼玉県で検査し公表している。お茶を除くすべての野菜について暫定規制値を下回った。お茶については茶業研究会や県と協議して対応を検討していきたい。



問 落ち葉堆肥等への影響はどうか。
答 環境産業課長 三富地域農業振興協議会が検査することになった。町独自で検査することを考えているのか。
答 環境産業課長 埼玉県の検査で、三芳町の農産物について把握することができている。したがって町独自で検査することは考えていない。



日本共産党 吉村美津子

事業仕分けは住民のためになるのか疑問！ 65歳以上の介護保険料の引き下げを求める



問 新町長になって事業仕分けが行われた。判定人は5人で、うち2人は町外の人。その町外判定人は、障がい者手当について、「現金で支給するやり方はどうか」と発言し、障がい者手当に廃止の判定をした。ねたきり老人手当も判定人全員の5人が廃止と表明した。
答 町長 議員や職員が福祉向上を求めて実施されている事業を廃止とする事業仕分けは福祉後退に通じるのでは。
問 65歳以上の方が納めた介護保険料の残高（介護保険給付費準備基金）が3億3千万円もある。これは県内町村で一番多い基金額である。基金を取り崩して65歳以上の方の保険料を引き下げるべきではないか。
答 健康増進課長 第5期計画策定に向けて引き下げられるか検討中。



いぶき 抜井尚男

三芳町の産業振興計画について 観光・農業・商工業発展へ積極的な支援策を

問 観光資源の発掘・活用について現在の取り組みは。
答 環境産業課長 世界一のいも掘り大会・B級グルメ王決定戦・みよしつ子野菜市等である。ウェブサイトのPRは若干不慣れのため、今後活用すべきと思う。埼玉県を取り組み（ロケーションサービス・フィルムコミッション）についても調査研究し今後活用していきたい。
問 観光施策に有効な近世開拓史資料館の建設予定は。
答 町長 県の施設としての建設は無理、地元の方々と協議しながらビジターセンター等（ガイダンス機能や駐車場）の計画を県と協議し早急に進める。



こぶしの里

問 歴史民俗資料館の夜間開館とホテル観賞の関係事業についてはどうか。
答 歴史民俗資料館長 このふしの里で行われている、ほたる育成会による「ホテル観賞の夕べ」の問い合わせが町内外より問い合わせがとも増え、資料館としても共に取り組むことが有効と考えPRや駐車場及びホテル育成展示を行い相乗効果を得て、3千人以上の来場があり、来年以降も取り組む。
答 環境産業課長 観光・環境・農業等の側面からも竹間沢農地環境保全協議会も含め、町として来年度以降も是非取り組み支援する。



日本共産党 杉本しげ

事業仕分け住民のサービス向上に向け判断を 給食食材の放射線量測定し安心安全の確保を



問 三芳町が今回行った「事業仕分け」の議論の中で「民間活用」「効率性の発揮」「受益者負担」等々、住民サービスの低下になりかねない発言（主に外部判定人）があったが、今後、行政が各事業の方向を見極める際には、「住民の安全と福祉を守る」という地方自治の原点に立ち、事業の改善、充実を図るべきではないか。
答 政策秘書室長 事業費の削減だけが目的ではなく、事業の改善や発展を導くことも目的だ。
問 町民は随時公表される数値を見るたびに、これで大丈夫なのか不安を感じている。
答 放射能汚染対策について 町長は随時公表される数値を見るたびに、これで大丈夫なのか不安を感じている。
問 この制度を21年から実施しているが、ほとんど使われていない。補助額や建て替えリフォームなど対象項目を拡大すべきではないか。
答 都市計画課長 耐震を優先したい。制度が始まって間もないので少し経過を見たい。
問 空間線量測定器を購入し、町民にも貸し出すこと。②調査結果をデータ化し、資料として蓄積し公開していくこと。③専門家による講演会などを行い、住民に啓蒙していくこと。④給食センターに測定器を設置し、給食素材を計り住民に測定結果を公表すべきではないか。
答 環境産業課長 消防署の測定器を借り場所も増やし、希望があれば住民と一緒にいく結果を公表していく。講演会等については実施したい。
答 教育総務課長 給食センターの食材は、安全と確認されたものを使用している。測定器の購入は現在考えていない。
◆耐震補強改修助成事業の充実

議会活動日誌

8月

- 2日 千葉県芝山町議会 議会運営委員会 視察来庁
- 4日～5日 埼玉県町村議会議長県外視察
- 9日 議会運営委員会
第6回三芳町議会臨時会
全員協議会
- 18日 福岡県岡垣町議会 議会運営委員会 視察来庁
- 26日 厚生文教常任委員会
- 29日 議会運営委員会

- 20日 決算特別委員会
- 21日 総務常任委員会
入間東部地区衛生組合 議会運営委員会
- 22日 入間東部地区消防組合議会
- 27日 入間東部地区衛生組合議会
- 29日 宮崎県川南町議会 総務常任委員会 視察来庁
- 30日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
全員協議会

9月

- 1日～30日 第7回三芳町議会定例会
- 1日 議会運営委員会
- 2日 総務常任委員会
- 6日 議会運営委員会
夜間議会
- 9日 厚生文教常任委員会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 総務常任委員会
- 15日 入間東部地区消防組合 議会運営委員会
- 16日 決算特別委員会

10月

- 4日～5日 議会運営委員会 視察研修
- 6日 議会だより編集委員会
- 14日 埼玉県町村議会議員研修会
- 17日 全員協議会
- 18日 宮崎県高鍋町議会 議会運営委員会 視察来庁
- 22日・23日 議会報告会
- 24日・25日 町村議会広報研修会
- 27日 熊本県菊陽町議会 議会運営委員会 視察来庁
入間東部地区消防組合議会 視察研修
- 28日 入間東部地区衛生組合議会 視察研修

次の議会定例会は

12月1日 開会の予定です

皆様の傍聴をお待ちしております



編集後記

残暑厳しい中開催された今定例会でしたが、9月30日をもちまして閉会いたしました。

閉会する頃にはすっかり秋を感じる事ができました。

今議会では、夜間議会も開会され、多くの町民また町外の方々に足を運んでいただき、議員一同嬉しく思っております。

しかし、今議会を振り返りますと、議会全般におきまして課題が残されたことも否めない事実であると思えます。

こうした課題を一つでも多く改善し、今後につなげていきたいと思っています。

今後、皆さまのより多くの声を聞かせていただき、よりよい議会、よりよい議会だよりを作ってまいりますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

議会だより編集委員会
副委員長 久保

- 委員長 吉村美津子
- 副委員長 久保健二
- 委員 菊地浩二
- 委員 石田豊旗
- 委員 小松伸介
- 議長 山田政弘